



千五百人が観賞

市長賞

洋画 稲木健一に輝く

二十一回を迎えた「山口市美術展覧会」が十月十四日から四日間、市民会館小ホール、展示ホールで開かれました。

日本画、写真、工芸など七部門に入選の作品は百四十九点、いづれ劣らぬ力作ぞろいで、招待作品を含め、所狭しと展示された会場に、約千五百人の市民が観賞しました。

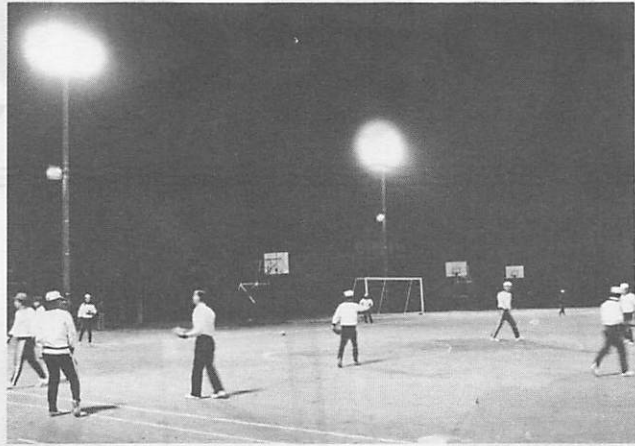
審査の結果、次の人が特別賞を受賞しましたが、洋画で稲木健一・美代子夫妻、写真で福田勝己・圭子夫妻がそろって受賞し、話題になりました。

21回 市美術展覧会

- 。市長賞 洋画 稲木健一(三の宮一丁目)
- 。市議会議長賞 日本画 柳良幸昌(上野小路)
- 。教育長賞 洋画 稲木美代子(三の宮一丁目)
- 。文化協会会長賞 写真 福田圭子(平川)
- 。教育委員会賞 日本画 田中芳式(湯田温泉五丁目)
- 。文化協会賞 日本画 竹本静子(湯田温泉五丁目)
- 。洋画 稲野功一(大内)
- 。紙谷史雄(小郡町)
- 。写真 栗林和彦(大蔵)
- 。肥田弘雄(吉敷)
- 。工芸 大和信昭(宮野)
- 。斎藤美明(下野小路)
- 。繁永公磨(宮野)
- 。木田宗一(中央一丁目)
- 。書道 坂根和子(大蔵)
- 。文化協会会長賞 高克己(阿東町)

市報は、家族でまわし読みをし、とじて保存しましょう。

市内初のナイター施設 川西中学校に完成



夜空にくっきりと浮かぶ水銀灯。灯の近くでは、100ルクス近い明るさがあり、バレーボール、ソフトボール、サッカーなどは十分できる明るさです。

十月二十日、嘉川・川西中学校のグラウンドに、市内で初めての屋外運動場の夜間照明施設が完成、堀市長ら関係者が出席して、点灯式が行われました。

これは、社会体育施設が不足の南西部域に学校体育施設を夜間、一般市民にも活用してもらおうと、市が九月十二日から工事を進めていたものです。

完成したナイター施設は、千本の水銀ランプを八個付二基、四個付四基を十七メートルの高さにたて、約六千平方メートルのグラウンドを平均照度六十ルクスの明るさで照らすものです。

事業費は約千百万円で、国の補助事業。学校施設に設置されたものとしては、県下では錦町、久賀町、三隅町、美和町、萩市、小郡町に次いで八番目の施設です。

ソフト・サッカーなど 社会体育の場に開放

夜間

点灯式が終わった会場では、さつきあかあかとともなる水銀燈の光のもとで、グラウンド二面を使って、学校職員や地区体育関係者が嘉川、佐山地区に分別、親善ソフトボール試合が行われ、待望の社会体育の場の完成を祝いました。

この夜間照明施設は、市教育委員会の管理ですが、学校体育施設開放によって、これから一般に開放されます。

また、市では今年度中に二島小学校にも同じナイター施設をつくることにしており、地元協議を急ぎ、近く工事に着工の予定です。

市教育委員会では、この結果を受けて、「障害の状態に応じ、その可能性を最大限に伸ばすためには、どのような教育機関に就学させるのが最もふさわしいか」を教育的な立場から審議し、関係者に、具体的に教育相談をすすめることとしています。

来年から養護学校義務化 体の不自由な子らの 就学審査会近く開く

昭和五十四年四月一日から、養護学校教育が義務制になります。重度の心身障害児も、養護学校に入学し、義務教育を受けることとなります。

市教育委員会では、十月三十一日までに学令簿を作成、盲者、聾者、精神薄弱者、肢体不

自由者および病弱者は、十二月三十一日までに県教育委員会に通知することになっています。

市では「心身障害児就学審査会条例」が制定されています。

この審査会は、医師、学識経験者、教育、行政関係者で構成され、心身に障害をもつ子ども

について、その障害の種類や程度を専門の立場から検診し、判定をするものです。

審査会は、十一月と十二月に開催し、そのときは、該当する子どもはもとより、父兄やその他の関係者の出席を得て審査をすすめます。

市教育委員会では、この結果を受けて、「障害の状態に応じ、その可能性を最大限に伸ばすためには、どのような教育機関に就学させるのが最もふさわしいか」を教育的な立場から審議し、関係者に、具体的に教育相談をすすめることとしています。

心身に障害のある子どもをお持ちの保護者(特に小学校入学前の子どもをお持ちの保護者)は、子どもの就学について、市教育委員会学校教育課にご相談ください。

昭和五十四年度 入園児を募集

山口市立幼稚園

来春、市立幼稚園の入園児の募集を行います。入園希望の人は、各幼稚園備え付けの「入園願書」に必要事項を記入し、入園希望の幼稚園に十二月一日から八日まで提出してください。ただし、在園中のお子さんは不要です。

募集は四歳児保育幼児(昭和四十九年四月二日から昭和五十年四月一日までに生れた幼児)で、五歳児は定員に満たない人員のみ募集します。

なお、入園希望が定員をこえるときは、所在地の小学校区に住んでいる幼児を優先し抽せんします。

市立幼稚園と四歳児保育の定員は、次のとおりです。
▽仁保(八〇)▽宮野(二二〇)▽吉敷(八〇)▽平川(一一〇)▽小鎗(四〇)▽大内(八〇)▽鑄銭司(四〇)▽名田島(四〇)▽二島本園(四〇)▽二島分園(五歳児ともに四〇)

新入学 児童健康診断を 行います

来春、小学校へ入学する児童の「就学時健康診断」を次の日程で行います。

該当児童は、昭和四十七年四月二日から四十八年四月一日までに生れた人、就学義務猶予の児童、日本国籍を有し

ない児童で、入学児に該当し保護者から申し出があった人です。該当者には、健康診断通知を送付しましたが、届かない人は、市教委学校教育課へお問い合わせください。

小学校名	日 程		時 間
	日	受付時間	
仁保	11.28	12:30~13:00	12:30~13:00
保野	11.28	13:00~14:00	
仁保	11.30	12:30~14:00	12:30~13:00
大石	11.16	12:30~13:00	
湯田	11.16	12:30~13:00	12:00~12:30
良城	11.21	12:00~12:30	
大川	11.28	12:00~12:30	12:00~12:50
平川	11.21	12:00~12:50	
小鎗	11.7	12:30~13:00	12:30~13:00
大内	11.16	12:30~13:00	
鑄銭司	11.17	12:30~13:00	12:30~13:00
名田島	11.14	12:30~13:00	
二島	11.21	12:30~13:00	12:00~12:30
嘉川	11.7	12:00~12:30	
興進	11.9	12:30~13:00	12:30~12:50
佐山	11.14	12:30~12:50	
	11.28	13:00~13:30	13:00~13:30



そば 蕪村 落日の潜りて染る蕎麦の茎

草や木も紅葉して秋も深まりました。11月は別名を霜月というように、朝は霜を見ることもあります。冬の段取りも考えておきましょう。

—11月のこよみ—

■文化財保護強調週間 1日から7日 祖先の残した有形無形の文化財の消滅を防ぎ、なお一層の保護を心掛けましょう。

■文化の日 3日 自由と平和を愛し、文化をすすめる日として、国の定めた祭日。各地で文化グループの発表会などがあります。

■お年玉つき年賀はがき発売 6日 毎年11月上旬に発売される年賀はがきは、6日から。山口市内での発売枚数は約304万枚。

■立冬 8日 こよみの上では今日から冬。朝夕寒冷が加わり、いわゆる夜寒むを感じます。カゼをひく季節ともなりますからご注意ください。

■七五三祝 15日 子どもの成長を家族親戚うちそろって祝います。

■勤労感謝の日 23日 勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日。

■秋の全国火災予防運動 26日～12月2日 冬の寒さに向って、暖房器具などを使うことが多くなりますが、いつも十分に器具の点検をして、火災予防に気をつけましょう。

一般会計予算(9月末) 執行率(歳)は32.7% 昭和53年度上期財政公表

一般会計収支の状況

Table showing budget and actual figures for general accounting income (歳入) and expenditure (歳出). Columns include item, budget, actual amount, and execution rate.

Table showing budget and actual figures for general accounting expenditure (歳出). Columns include item, budget, actual amount, and execution rate.

歳入歳出とも予算現額には繰越額362,881千円を含む

財政に関する事項の公表に関する条例により、昭和五十三年度上期の財政状況を公表します。 昭和五十三年十一月一日 山口市長 堀 泰夫

一般会計予算現額 百五十億八千五百五十四万二千円

五十三年度一般会計予算は、四回の補正を行い、約五億一千万円追加し、百五十億八千五百五十四万二千円となりました。九月末現在、歳出は、公共事業の景気浮揚策で早く執行するよう努めておりますが、執行率は、三十二・七割、一方、歳入は、市税が若干伸び、普通地方交付税が前年比五億六千七百五十四千円増となりましたが、多くの事業を起債に頼っており、一般会計起債累計は、七十七億四千余万円になっています。なお、国民健康保険など七つの特別会計は、予算現額五十一億四千五百三十七万八千円に対し、歳出執行は約三十割です。

市有財産現在高

Table showing current high of municipal assets, categorized by land, buildings, and other assets.

県流通センター

市に推進会議が発足

大歳朝田、小郡町仁保津にまたがる地域四十八軒に設置が決まった「山口県流通センター」の事業を推進するため、市では推進会議を設けることになり、十月十二日に初会合を開きました。 会議は助役を議長に、関係部課長十七人がメンバー。今後、協議をすすめる、所掌の事務を分担して早期にその実現を目指すことなどを申し合わせました。

児童手当制度の改正

「児童手当法」の一部が六月一日付で改正されました。その主なことは、前年の収入で市税の所得割額のない受給者に支給される児童手当の額が、月額千円増額され、十月分の支給から月額六千円になります。



国民健康保険証 検認をします

市では十一月一日から三十日まで、国民健康保険証の検認をします。 市に保管されている台帳との突き合わせをし、十一月三十日で期限切れとなる保険証の有効期間を一年延長するためです。 国民健康保険の納付組織に加入している人は、地区の世話人を通じて、回収して検認の後、お返ししますが、その他の人は、期間中に市役所保険年金課または、各出張所で検認をうけてください。 検認手続き中に、保険証が必要な人には、「資格証明書」を発行しますので、市役所保険年金課または、各出張所へ申し出てください。 なお、保険証のうち、学生用遠隔地保険証、通称(学)も検認の対象になりますので、世帯主の方で遊学先に連絡をとって検認を受けてください。

冬の山口の新名所 群れ遊ぶカモ 榎野川



すっかりカモの楽園となり、市民にもおなじみとなった大歳矢原の河川公園一帯の榎野川。今年は例年より約20日も早く10月初旬に一陣が飛来、日ごとに数もふえ、10月20日現在約250羽、秋のやわらかい日差しを浴びて、水面に群れ遊んで、冬の山口の新名所となりました。

川石末良



陶・上市の民家

陶の地は、その中央を東西につらぬく国道二号線がありますが、これに平行して、古い時代の山陽街道がほぼ完全に残っています。
この旧街道に添って上市、下市という所があり、今も両側に家が並んでいて、古い時代にはここが陶の中心地であったことが想像されます。
江戸時代に書かれたものに「宿馬十四、陶市、幕府の御用送りや、藩の御用物などを宿継ぎする場所に御座候」とあるので、明治になるまでこ



建田物 旧街道の風情が残る 上市(陶)の民家

こは山陽道の小駅であったことがわかります。
今もこれらの家は、道路に面して、間口より奥行きが長い家が続くかあって、古い時代の町並みをしのばせています。宿継ぎ時代には、この家々では、農業のかたわら、茶店をしたり、雑貨を売ったりしたものと思われまふ。
その名残りは、昭和初年ごろまで上市、下市の名のうちに、年の暮には、正月用品を売る市がたちぎわわっていました。現在はかやぶき屋根もトタンでおおわれましたが、さすがに古い街道筋の町並みという風情は残っています。

小鯖謡曲グループ

「山口の地で謡曲をうたうな、恥をかかず」とはよくいわれることです。謡曲がさかんで、レベルの高い人が多いというのでしよう。
公民館の趣味グループにも、七館、同好会があります。
その中の一つ、毎週小鯖公民館でこの道の探求々々をしているのが小鯖謡曲グループのみなさん。
教員、郵便局長、農業者、主婦など、さまざまですが、初心者ばかりで昭和五十一年に発足したものです。
現在、会員は、男性七人、女性五人、その中に夫婦も三組おられます。
会には正式な名称はなく、代表者もいません。会計や会場準備などは正式な名称はなく、代表者もいません。会計や会場準備などは正式な名称はなく、代表者もいません。

つどい



10月19日 例会での練習

3組の夫婦も 謡曲を習う

備などの会の世話は、輪番制で行う小じんまりしたグループです。
先生は当初から松永正敏さん(41・市職員)、この「世界」七番目の謡曲を練習中です。
秋の地区公民館まつりでは、日ごろの練習の成果を披露するのが定例行事になったほか、市内の同好の士の発表会にもできるようにになりました。
謡曲を始め三年近くたった感想は「とおたずねすると、「落着きがでてきた」「腹の底から声を出すことは、胃腸によいのだろう、健康になった」「仲間を頼まれても苦にならなくなった」「練習日があくのが楽しみ」などなど、その反応はさまざま。発表会が近くと、「お母ちゃんにハッパをかけられ、夫婦で練習をします」という会員もおられ、ドツと笑いが練習会場にひびくなど、和気あいい。会員にとっては、とても楽しい会のようなものです。

無料法律相談

。とき 十一月十三日午後一時三十分から。受付は、午後一時から三時まで。
。ところ 市中央公民館

市が隔月に一回行うもので土地売買、相続など、法律上の問題を弁護士さんが相談に応じます。
なお、今回は一月の予定。

国民年金

福祉年金証書

お返しします

福祉年金定時届のため、お預りしました老令福祉年金・障害福祉年金の証書を十一月七日からお返しします。
さしあげております保管書と印かんを持って証書提出先の保険年金課または、各出張所でお受け取りください。
なお、次回の年金支払期は十二月十一日からですが、十一月十一日からでも受けとることが出来ます。

山口文化バスの会

油谷町へ

。日時 十一月二十六日午前八時三十分市民会館前出発。
。コース 楊貴妃の墓―人丸神社―青海島(昼食)―西円寺―夏みかんの原樹―村田清風旧居
。会費 大人三千円、子ども二千五百円(昼食代を含む)
。募集人員 九十人

(5)

われら



品が多く見られ、その歌には若々しさがありません。その田村さんを訪い、歌や絵のお話を伺いましたが、最後に女性のあり方について「若い頃は本をたくさん読み、ロシヤ物や白樺派の作

このほど「ゆく雲」という歌集を出された道祖町の田村照子さんは、今年八十一歳、その本の表紙や、本文のカットにも自筆の絵が



あり、歌と共に絵もかいて毎日楽しく暮しておられることが知られます。歌集には、生活を楽しみ生活と歌が一体となった作

生活をうたう 81歳で処女歌集発刊 田村照子さん(道祖町)



このころは、家の中で歌をよみ、絵をかくという田村照子さん

品に熱中したこともありまして。そして小説家や新聞記者になろうと思ったり、そのためいろいろな行動をしました。しかし、今にして思えば、女性の本来の生き方は、家

庭、子ども中心であるべきだと思います。それは自分をぎせいにしようというのではなく、その家庭と共に自分も充実した生活をする努力をすることです。女性が家庭、子どもの為に尽すことは、大きくは人類生物すべてのもので済す根本になると思います。家庭を破壊しても自分本位の生き方

をという考え方には、本来に人類の進歩は望めません。自分の考えを主張することができ、思うこと、言うことが十分できる家庭をつくり、さらにそのような社会をつくる努力が、女性の考えの根本になってほしいものです」と田村さんは、老いのほおを輝かせて語られました。

処したらいいでしょうか。

一市民

最近、サラ金を利用、借金の返済に困まっています。といった相談を時々受けます。

答

利用のきつかけは生活上やむを得ない場合もあるようですが、キャンペーンや、見栄、衝動買いの結果、サラ金を利用して返済に困まる例も多いようです。

サラ金の借金整理

いわゆる「サラ金」を利用しています。だんだん借入れの口数も金額も多くなっ



てしまいました。どのように対

サラ金は利子が高く、一日当たり〇・二五割(日歩二十五銭)ですと、年率九一・二五割(九十一円二十五銭)となります。

すでにサラ金利用のあなただけの場合、借入金額・口数を減らす最大の努力をすぐ始めることです。返済計画をきちんとたて、生活をきりつめ、処分できる財産があれば処分して返済し

てゆく努力をすることです。

また一般的な利用上の注意としては、

貸付け条件をよく確かめる。業者への元本の内入れ、利息ほかは、名称のいかんを問わず、その目的と金額を明記した領収書を必ず受け取る。契約書の写し、領収書などを必ず保管しておくこと。

借金整理のための方法としては業者との話し合い、民事調停、利息制限法にふれるときは裁判所への申し立てなどもあります。

また、制度融資の方途を研究することや、困りごと相談所(山口五局四三二一)へ相談をしてみることもよい方法です。(市民相談室)

ツツジ

宮野清水寺

宮野窓路にある清水寺、自然石の参道の石段の両側に植えられた樹令三十余年のツツジ(写真)に、十月初旬からちらほらと花がつきはじめ、日あたりのよい木には、一本に十数輪の花がさきました。時ならぬ花に、地元の人もびっくり、周囲ははなやいだく香りと空気がつまれました。



狂い咲き? 二題

サクラ

山陽本線嘉川駅

嘉川駅構内には、樹令二十五年のサクラが数本ありますが、このうちの一本が十月初旬から咲き始め、二十日には満開(写真)、乗降客の話題となりました。構内はすっかり秋色の中に、淡いピンク色のサクラの花は、春と秋が同居している光景となりました。



行政相談会

吉敷公民館で

講師 郷土史家内田伸
主催 山口文化バスの会
申し込み ハガキまたは電話で十一月二十日までに葵二丁目市交通局内、山口文化バスの会事務局(山口)へ
①二五五五へ。雨天中止。

参加者を募集

山口の文化財を守る会では下松市、上関町、平生町の文化財見学バスを運行、その参加者を募集します。
日時 十一月十二日午前八時
時市民会館前に集合
見学地 花岡の多宝塔(下松) ↓ 常満寺大イチョウ・上関大橋(上関) ↓ 白鳥古墳(平生)

。人員 五十人(先着順)
。会費 千五百円
。申し込み ハガキまたは電話で市教委社会教育課(☎二一四一一)へ。
。昼食は持参のこと。

十一月一日～十日「交通死亡事故抑止特別旬間」——一秒をいそぐ心が事故のもと

「信号を無視して道路を横断する人が老人、特に女性に多い」鑄銭司六十歳台の男性。「車はもっとスピードを落して走ってください」大内六十歳台の女性。これは、市がこのほど実施したお年寄りの交通安全のアンケート調査

に寄せられた意見です。交通弱者といわれ、交通事故の多いお年寄りが、交通安全に対し、日常どんな行動をし、どんな意識をもっておられるかを知るために、調査したものです。以下、調査の概要です。

お年寄り やはり黄信号 交通安全意識調査から

お年寄り 交通安全アンケート

- 期間 9月27日～10月5日
- 対象 60歳以上の老人300人
- 抽出 およそ人口比により16地区に人数を割りふり、地区内の抽出は、男女、年齢などを考慮してと、調査者に依頼した。
- 方法 市広報広聴モニターに配布・回収を依頼。調査対象者の自記、モニターの聴取調査とした。
- 設問 横断歩道の利用、交る通信信号機の意味がわかるか、自動車、自転車の利用、老人の交通事故の多い理由など10項目を設定した。
- 回収 100%
- 集計 男女、ブロック、年齢別に集計した。

調査の結果

- 過去一年間、家族から外出のとき交通安全の注意を受けたことはない——二十八割
- 「よく注意される」三十五割、「ときどき注意される」三十五割。
- 過去三年間、交通安全の話しをきいたことはない——二十六割
- 「二回以上きいた」五十三割、「一回きいた」二十割、特にきいたことのない人は女性に多い。
- 自動車について「かわいと思う——六十七割」「かわいとは思わない」二十八割、「わからない」三割。



まちかどで見かけた光景。温かい思いやりが他人にも伝わります。

- 交通信号機（赤・青・黄・赤黄の点滅）の意味が全部は知らない——七割
- 「わかる」九十三割。
- 国道や県道などを横断するとき、横断歩道や陸橋があってもあまり利用しない——八割
- 「必ず利用する」六十七割、「ほとんど毎回利用する」二十割
- 「自転車のほとんど毎日のる——二十五割」
- 「自転車のにのれる」六十三割、「時々」二十五割、「ほとんど」八割。
- 日ごろ、自転車にのる人のうち、進路変更の手信号を知らない——十二割
- 「近いうちに自転車のりをやめようと思う」二十三割。
- 自動車の運転をする人——二十一割
- 「近いうちに自動車運転をやめたい」十四割。
- 老人の事故の多い理由、機能低下——四十五割
- 「老人が交通ルールを知らない」二十五割、「ドライバーの安全教育不足」十四割、「わからない」七割、「その他」五割。

老人の自覚、社会の思いやり もっと、もっとと必要です

多くの老人は、事故が多い理由は、運動神経や反射神経の衰えと、交通ルールを知らないことに起因すると答えています。そして多くは、自動車はかわい、との感じを持っています。反面、四人に一人は自転車にのり、交通信号がわからない人

が七割もあり、横断歩道などをあまり利用しない人が八割、安全教育に無関係の人が二十六割いるなど、老人はやはり黄信号といえます。

老人自身の自覚と、社会の思いやりがもっとと必要といえそうです。



がん検診車が やってくる

胃がん・循環器検診

十一月七日大内公民館、八日吉敷公民館、九日仁保生活改善センター。時間は

がんの検診車がやってきました。いい機会ですから、検診を受けましょう。

■婦人がん検診
十一月二十二日湯田児童文化センター、二十四日香山町二—三米山宅前あき地。時間はいずれも午後一時から二時まで。料金千四百円。

料金、胃がん千七百円、循環器五百四十円、心電図千円
なお、胃がん検診を受ける人は、当日は食事はもとより水、たばこ、お茶も口にしないでください。

十一月十一日～十七日 「税を知る週間」

税金は私たちの生活に深いつながりをもっています。税を知る週間は、税金の仕組み、使い方をよく理解してもらうためのものです。

税務署の窓口では、税金のわかりやすい、パンフレット

を無料配布するほか、週間行事として十一月十二日ちまきや百貨店で無料相談所や、きき酒コーナーを開きます。

なお、国税の相談なら、山口税務署内税務相談室（二—七七四）いつでもどうぞ。

「指名手配・WANTED」追跡作戦

十一月は強調月間です

警察では、十一月を「指名手配被疑者の捜査強調月間」として全国で「指名手配犯人の追跡大作戦」を行います。

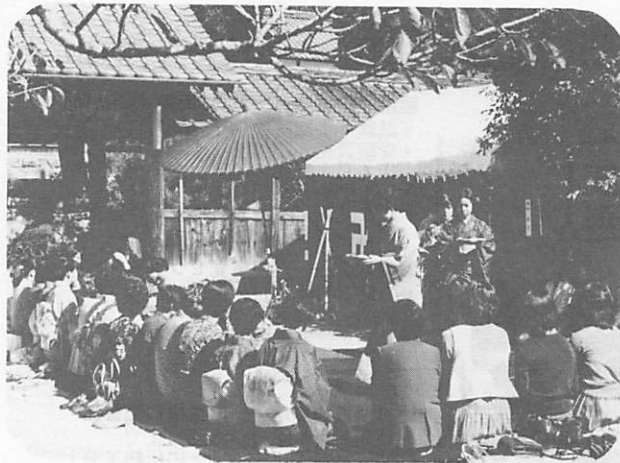
全国で指名手配の犯人は、五千人にのぼります。

ポスターに似ている

犯人らしい人が「任んでいる」「働らいている」。

引越してきたが人目をさけるようだ

こんなときは、すぐに一一〇番しましょう。市民の通報で犯人逮捕の例は多いです。



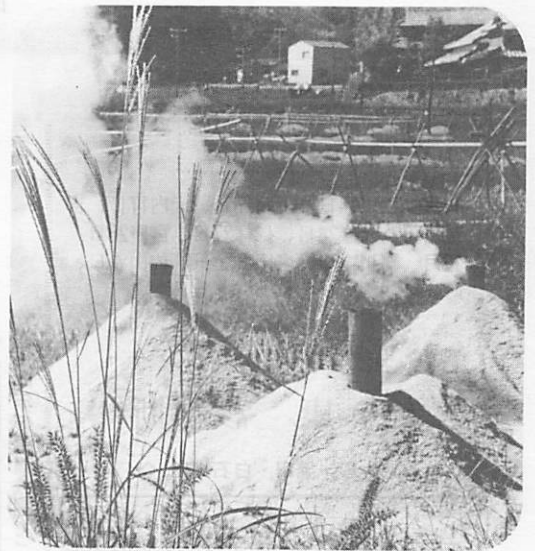
▲紅葉に野立てを楽しむ

小鯖泰雲寺で野立てを楽しむグループにであいました。紅葉と古寺と茶の湯のおりなす、風趣の中でみんなで「行く秋」をおしんできました。野立ての時節が去ると、朝夕はさむぎむとした冬景色となります。



カメラ

十月二十二日、秋深きまぐちの姿を求めて、カメラは市内を歩きました。あちこちで、秋の深まり々をつげる光景にたくさんでくわしました。もう、冬の足音は、そこまできています。



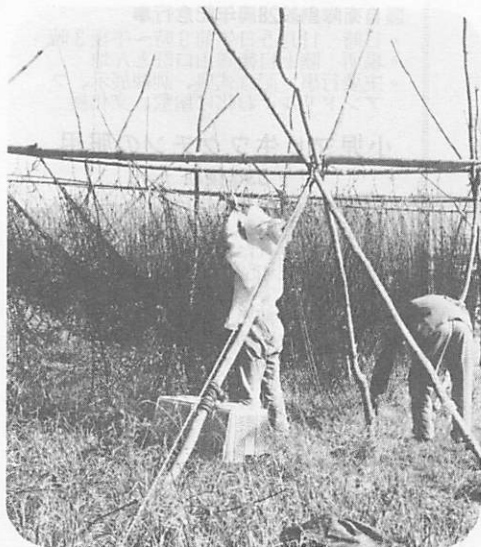
▲長い影をおとし、煙たなびく

とり入れを終わった田んぼでは、スクモ（もみから）を焼いていました。雑草は緑を失い、稲架がつづく広い田んぼ一面に、長い影をおとし、煙がたなびいていました。（小鯖）

やまぐち 秋深し

▼いも掘りが終わると霜の季節

いも掘りを楽しむ子どもたち、秋を迎え土中で大きくふとったさつまいもに、園児たちの歓声がとびかいます。農家でいも掘りが終わると、すぐ霜の季節を迎えます。（写真は10月19日吉敷愛児園湯田保育所のいも掘り）



▲寒さの到来を待つりの養殖

佐山の海岸ばたで「のりひび網」を干している漁家の人に出会いました。種付けを終わった網ひびを干し、冷凍室に入れ、11月初旬海につけるのだそうです。

寒さの到来とともに、のりはそだち、12月中旬には、香りのよいのりがとれるそうです。



▲トシャクをつくる老夫婦

仁保でトシャク（わら塚）をつくる老夫婦にであいました。稲わらを積むお年寄りを和らかな秋の日がつつんでいました。



同和問題を考える

十一月一日～三十日
ガス安全使用強調月間

市民同和教育研修講座の開設にあたって

市教育委員会では、市民の同和問題に対する認識を深め、問題解決のための積極的な取り組みを促進することによって同和問題早期解決を図るという趣旨のもとに、十月十九日から十一月十六日の毎週木曜日（五講座）に市民同和教育研修講座を開設しております。第一回目の講座には、例年になく、多くの参加者があり、関係者一同喜んでいらっしゃるようです。

同和問題を一日も早く解決していくためには、すべての市民が同和問題を学び、理解しなくてはなりません。同和問題の解決は「国の責務」であると共に「国民的課題」であるといわれています。

しかしながら、国民全般の間には、まだ「同和地区住民の問題であって、自分には直接関係はない」という認識をもっている人が多くいます。しかし、差別の現実を正しくみつめ部落差別はいかに国民の権利と深い関係があるかを考えてみる必要があります。

最近の結婚差別、就職差別などの差別事象をみてもわかるように、人権侵害を受けているのは同和地区の人たちだけ

けでなく、地区外の人たちも含めて、これらの事件をとりまくすべての人を不幸にしているのです。このことは、同和地区の人たちの不幸が、国民ひとりひとりの不幸につながり、逆に同和地区の人たちの幸福が国民全体の幸福につながることをあらわしています。このようなことから決して無関係であったり、他人ごとでないことがわかると思われます。

ある市民の方は、「同和教育をうける以前は、耳から聞いて、口から伝えることを多くの人が繰り返してきました。私も真実はわからぬまま過ぎてきました。このような講座で学習することによって、正しいことを知ることができました。これからは、過ちを繰り返すことのないよう勉強していきたいと思えます」と、いつておられます。

第六回県技能大会 十一月十四日午後一時から、市民会館小ホール。表彰、作文発表、講演。

不燃物の収集日

出張所地区

- 11月 平川14日、小鯖16日、大内17日、吉敷21日、大歳24日、仁保27日、宮野28日
12月 嘉川1日、名田島2日、佐山4日、陶、鑄銭司5日、秋穂二島6日

無料レントゲン 健康診断

大 殿・湯 田・白 石 地 区

Table with columns: 日 (Date), 時 間 (Time), 場 所 (Location), 所 (Address). Lists various health check-up locations and times across different districts.



(昨年の絵画教室で)

秋の児童文化講座

市児童文化センター

- 絵画講座
対象 小学一・二年生
人員 四十人
日時 十一月四日午後二時、五日午前九時三十分から
会費 画用紙代六十円
指導 宮内孝子先生
版画講座
対象 小学三・四・五年生
人員 三十人
日時 十一月十八日午後二時、十九日午前九時三十分から
会費 二百円(彫刻刀持参)

- 楽焼講座
指導 押方敏春先生
対象 小学四・五・六年生
募集人員 三十人
日時 十一月十二日・十三日、いずれも午前九時三十分から
会費 四百円
指導 中川猪太郎先生
申し込み、場所はそれぞれの講座も市児童文化センター(電話二一四二八五)各講座とも定員になり次第締切ります。

漁業の実態を調べる 第六次 漁業センサス
この調査は、海面漁業と内水面漁業とに分かれて調査され、漁業の従事日数や、年間の漁獲物、養殖の種類などを調査して、漁業の実態を知り、今後の漁業政策の資料とするものです。調査対象地区には、調査員がうかがいますので、ご協力ください。

県立図書館専門職員(司書)採用試験
試験 1次試験(専門試験)11月20日
受験資格 昭和26年4月2日から34年4月1日までに生れた司書の資格取得者か、来年度まで取得見込みの人
申し込み 11月4日までに県立山口図書館(電話4-2111)へ

映写会—県視聴覚センター
日時 11月18日午後1時から
場所 県視聴覚センター
プログラム 各国の国情を紹介した短編映画(国際短編映画祭)
入場料 無料

月間資料展示—県立山口図書館
期間 11月1日から29日まで
展示資料 「ふるさと伝統工芸」の文献約50冊
場所 県立山口図書館

フランス刺しゅう内職説明会
日時 11月8日午前10時から2時間
場所 県婦人会館
問い合わせ 県職業訓練課内・内職公共職業補導所(電話2-3111)へ

自衛隊創設28周年記念行事
日時 11月5日午前9時〜午後3時
場所 陸上自衛隊山口駐とん地
主要行事 記念式典、訓練展示、フアンドリル、お化け屋敷、文化展

小児マヒ生ワクチンの服用 53年後期

- 対象者
・新規 昭和53年1月21日から7月20日までに生れた幼児
・2回目 昭和52年7月21日から53年1月20日までに生れた幼児
・服用もれの幼児(満4歳まで)
・服用できない幼児 有熱患者、下痢患者、病後衰弱者、麻疹ワクチン接種後1か月以内の幼児
・料金 無料

日 程

Table with columns: 日 (Date), 会 場 (Venue), 時 間 (Time). Lists the schedule for the vaccination campaign across various public buildings.

Table with columns: 11月の休日当番医 (On-duty doctor for 11th month holidays), 外 科 (Outpatient), 内 科 (Inpatient). Lists hospital names and phone numbers for various medical departments.

診療時間は8時30分から17時30分 歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ。9時から15時